

国際宇宙ステーションの古川宇宙飛行士に子供たちが質問 ISS との交信イベントに SOBA mieruka が採用されました

2011年8月30日(火)東京・仙台・名古屋を中継

P2P型テレビ会議システムのSOBAプロジェクト(京都市下京区・代表取締役社長 乾和志)が開発・販売するテレビ会議・中継システム「SOBA mieruka」(ソバ・ミエルカ)が2011年8月30日(火)に開催されるイベント「三菱電機Presents スペース・キッズ・プラットフォーム2011」に採用されました。

同イベントは、(財)日本宇宙少年団の主催で、現在国際宇宙ステーション(ISS)に滞在中の古川聡 宇宙飛行士と仙台・東京・名古屋の各会場に集まる小中学生が質問し、宇宙開発がどのように未来に役立っていくかを学ぶものです。ISSとJAXAが行う交信に当社のテレビ会議システム「SOBA mieruka」で仙台・東京・名古屋の各会場をつなぎ、リアルタイムの中継を行います。

■ イベントプログラム概要

- ・名称: 「三菱電機Presents スペース・キッズ・プラットフォーム2011」
- ・開催日: 2011年8月30日(火) 東京会場18:00~スタート、仙台・名古屋会場19:00~スタート
20:00~20:30 交信の説明と東京・仙台・名古屋3地区の交流(各会場を中継接続)
20:30~ 古川宇宙飛行士との交信による交流(各会場を中継接続)
※交信時間は衛星との交信状況により変更・中止になる場合もあります。

- ・会場: 日本科学未来館(東京都)、名古屋市科学館(愛知県)、仙台市科学館(宮城県)
- ・参加者: 小学4年生~中学3年生とその保護者 計130組(260名)
- ・主催: 財団法人 日本宇宙少年団
- ・共催: JAXA(独立行政法人 宇宙航空研究開発機構)、名古屋市科学館、仙台市科学館
- ・中継技術協力: 株式会社SOBAプロジェクト

※同イベントに関するお問い合わせは 財団法人 日本宇宙少年団へご連絡ください。
(財)日本宇宙少年団 HP) <http://www.yac-j.or.jp/> TEL) 042-705-8071

■ 中継システムとしての「SOBA mieruka」について

SOBAmieruka はパソコンとインターネット環境があれば国内外どこにいても利用できるテレビ会議システムです。またパソコンにDVカメラを接続すれば4Mbpsを越える高精細・高解像度の映像送受信が可能。SOBAmieruka は音声遅延が少なく、生放送などの映像配信にも非常優れているため、これまでサーキット中継や大学講義や講演会の中継など大規模イベントでも多数使用された実績があります。

テレビ会議システム「SOBAmieruka」(ソバ・ミエルカ) について

SOBA mieruka (ソバ・ミエルカ) は、高セキュリティ、高品質画像が特徴のテレビ会議システム (Web 会議システム) です。少人数でのパーソナルミーティングや遠隔地間での協同作業における使いやすさを徹底的に追求した“見える化”支援のためのツールです。

インターネットに接続された Windows パソコンにマイク・スピーカー・USB カメラがあればすぐに利用できる ASP サービスです。



パソコンの画面上で参加者の映像を見ながら、同時に1つの会議資料を全員で共有できます。

高解像度のデジタルビデオカメラに対応し、高画質な映像を VGA 以上の高解像度で配信が可能。プロジェクターや大型ディスプレイを設置した会議室・ホールなどでの中継にも適しています。

SOBA mieruka ホームページ : <http://mieruka.soba-project.com/>

■ 本件ニュースリリースに関するお問合せ

株式会社 SOBA プロジェクト <http://www.soba-project.com>
〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町 93 番地 京都リサーチパーク 6号館 3階
TEL 075-323-6066 / FAX 075-323-6067 / e-mail:pr@soba-project.com